

放課後等デイサービス自己評価報告

チャイルド・ホープ(東貝沢)

2019年3月公開用

1 環境・体制整備

	自己評価項目	取り組み状況
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・危険箇所をチェックして、床にマットを敷く、柱に保護材をつけるなどの対応をした。
②	職員の配置数は適切であるか	
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・非常勤職員を含めた人員配置で十分な支援体制を整えた。

2 業務改善

	自己評価項目	取り組み状況
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	・保護者向けアンケートを実施し、各提供サービスについてのご意見を次のサービス内容に反映させてきた。また、指導員の態度、支援方法等についても、改善点の把握と具体的な改善策の実行に努めてきた。 ・職員の全体会議を実施し、その中で、テーマを決めて全体研修を行ってきた。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	

3 適切な支援の提供

	自己評価項目	取り組み状況
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・職員が数名参加して、中間評価会議を実施し、その期間について、個別支援計画の達成状況や、支援目標について検討してきた。その際に、各利用者の全体的な活動状況や成長についても話し合った。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	その話し合いを基に次期の支援計画案を作成した。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・土曜や休日、また、長期休業中の活動計画を事前に検討して活動内容を決めてきた。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	・具体的には、土曜日や休日には調理学習、製菓学習、お出かけ学習等を実施してきた。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・学校のある日も、個別の創作活動や小集団活動のあと、原則全員参加の集団活動を位置づけた。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	例えば、みんなで作ろう、みんなで体操、風船バレー、みんなで畑、みんなで踊ろう、等である。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・集団活動を行う際にも、各利用者の実態を考慮して、必要な個別対応ができるように配慮した。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・詳細な記述式で日々の活動や支援状況を記録し、隔週程度の間隔で保護者に提示してきた。また、記録を職員間で読み合い、支援の継続性と共通性に生かしてきた。

4 関係機関や保護者との連携

	自己評価項目	取り組み状況
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	・日々の活動は、宿題等の学習、帰りの会やおやつ、及び上記の「みんなで○○」などの集団活動、個々の希望に添った創作活動やカードゲームや簡単な室内運動、ごっこ遊び等の小集団活動など、多様な内容を組み合わせて行われている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加し、必要な情報は各指導員に伝達している。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・各学校とは送迎時の情報交換以
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	

	か	外にも必要に応じて連絡を取って、児童生徒の課題に関する話し合いを行った。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・入学前の児童については、保護者の許可を得て、ご利用前に保育園、幼稚園の担任から情報提供を受けた。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・児童発達支援センター主催の研修に代表者が出席し、会議の席で情報を提供した。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・夏休みに地域の児童館や図書館を利用した。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・日々の活動記録をファイルして月に1度程度の頻度で保護者に閲覧してもらった。そのファイルには保護者からの連絡欄を設けてあるので、そこで、保護者からの、日々の活動や支援状況に対する感想、ご意見をいただいている。その欄を利用した保護者からは、家庭での様子や服薬状況等貴重な情報提供も受けることができた。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	・日々の支援記録は、指導員が児童生徒とのかかわりの中で、悩みつつも、それぞれの時点で最善と考えられる支援の成果の記述もあり、そのかかわり方は、保護者の子育て場面でも参考になったと感じている。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	

5 保護者への説明責任等

	自己評価項目	取り組み状況
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時に重要事項説明書を全文読み上げて同意をいただいている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・半年に1回以内の間隔の面談で

32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	活動状況の説明を行っているが、その際に、保護者の悩みに対する相談も行ってきた。それ以外にも
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	送迎時の立ち話、また、電話やメールで相談的な対応をして、保護者の悩みを共有できるように努めてきた。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・保護者会を開催して、和やかな雰囲気の中で保護者間の情報交換ができるような場を設定した。
35	個人情報に十分注意しているか	・苦情と思われる連絡には誠意を持って対応し、改善策を提示した。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・毎月通信を発行している。ブログやフェイスブックで随時情報提供している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	

6 非常時等の対応

	自己評価項目	取り組み状況
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・必要な緊急時対応マニュアルを作成し、全体会議や保護者会で周知してきた。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・地震火災避難訓練を実施した。 ・全体会議で虐待防止関係の研修報告等を行い、具体的な場面での虐待防止について話し合った。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・ケガをして医療機関に引率した事例などを記録してファイルし、以後の改善に努めてきた。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・食物アレルギーについては日々のおやつ提供時にも配慮できるように送迎表にも記載してきた。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・「ヒヤリハット」事例の記録をファイルして、以後の改善に努めてきた。

放課後等デイサービス自己評価報告

チャイルド・ホープ(東貝沢)

2019年3月公開用

1 環境・体制整備

	自己評価項目	取り組み状況
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・危険箇所をチェックして、床にマットを敷く、柱に保護材をつけるなどの対応をした。 ・非常勤職員を含めた人員配置で十分な支援体制を整えた。
②	職員の配置数は適切であるか	
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	

2 業務改善

	自己評価項目	取り組み状況
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	・保護者向けアンケートを実施し、各提供サービスについてのご意見を次のサービス内容に反映させてきた。また、指導員の態度、支援方法等についても、改善点の把握と具体的な改善策の実行に努めてきた。 ・職員の全体会議を実施し、その中で、テーマを決めて全体研修を行ってきた。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	

3 適切な支援の提供

	自己評価項目	取り組み状況
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・職員が数名参加して、中間評価会議を実施し、その期間について、個別支援計画の達成状況や、支援目標について検討してきた。その際に、各利用者の全体的な活動状況や成長についても話し合った。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	その話し合いを基に次期の支援計画案を作成した。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・土曜や休日、また、長期休業中の活動計画を事前に検討して活動内容を決めてきた。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	・具体的には、土曜日や休日には調理学習、製菓学習、お出かけ学習等を実施してきた。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・学校のある日も、個別の創作活動や小集団活動のあと、原則全員参加の集団活動を位置づけた。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	例えば、みんなで作ろう、みんなで体操、風船バレー、みんなで畑、みんなで踊ろう、等である。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・集団活動を行う際にも、各利用者の実態を考慮して、必要な個別対応ができるように配慮した。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・詳細な記述式で日々の活動や支援状況を記録し、隔週程度の間隔で保護者に提示してきた。また、記録を職員間で読み合い、支援の継続性と共通性に生かしてきた。

4 関係機関や保護者との連携

	自己評価項目	取り組み状況
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	・日々の活動は、宿題等の学習、帰りの会やおやつ、及び上記の「みんなで○○」などの集団活動、個々の希望に添った創作活動やカードゲームや簡単な室内運動、ごっこ遊び等の小集団活動など、多様な内容を組み合わせて行われている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加し、必要な情報は各指導員に伝達している。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・各学校とは送迎時の情報交換以
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	

	か	外にも必要に応じて連絡を取って、児童生徒の課題に関する話し合いを行った。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・入学前の児童については、保護者の許可を得て、ご利用前に保育園、幼稚園の担任から情報提供を受けた。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・児童発達支援センター主催の研修に代表者が出席し、会議の席で情報を提供した。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・夏休みに地域の児童館や図書館を利用した。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・日々の活動記録をファイルして月に1度程度の頻度で保護者に閲覧してもらった。そのファイルには保護者からの連絡欄を設けてあるので、そこで、保護者からの、日々の活動や支援状況に対する感想、ご意見をいただいている。その欄を利用した保護者からは、家庭での様子や服薬状況等貴重な情報提供も受けることができた。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	・日々の支援記録は、指導員が児童生徒とのかかわりの中で、悩みつつも、それぞれの時点で最善と考えられる支援の成果の記述もあり、そのかかわり方は、保護者の子育て場面でも参考になったと感じている。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	

5 保護者への説明責任等

	自己評価項目	取り組み状況
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時に重要事項説明書を全文読み上げて同意をいただいている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・半年に1回以内の間隔の面談で

32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	活動状況の説明を行っているが、その際に、保護者の悩みに対する相談も行ってきた。それ以外にも
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	送迎時の立ち話、また、電話やメールで相談的な対応をして、保護者の悩みを共有できるように努めてきた。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・保護者会を開催して、和やかな雰囲気の中で保護者間の情報交換ができるような場を設定した。
35	個人情報に十分注意しているか	・苦情と思われる連絡には誠意を持って対応し、改善策を提示した。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・毎月通信を発行している。ブログやフェイスブックで随時情報提供している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	

6 非常時等の対応

	自己評価項目	取り組み状況
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・必要な緊急時対応マニュアルを作成し、全体会議や保護者会で周知してきた。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・地震火災避難訓練を実施した。 ・全体会議で虐待防止関係の研修報告等を行い、具体的な場面での虐待防止について話し合った。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・ケガをして医療機関に引率した事例などを記録してファイルし、以後の改善に努めてきた。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・食物アレルギーについては日々のおやつ提供時にも配慮できるように送迎表にも記載してきた。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・「ヒヤリハット」事例の記録をファイルして、以後の改善に努めてきた。